

概要

春樹村上が書いた「IQ84」という小説第二巻における「取る」の動詞から複合された複合動詞の意味の分析

Destiani Wibowo

学生番号：2014110252

日本語学科

日本語の動詞は他の単語と複合し新たな言葉になり、後部の要素として動詞は複合動詞という。複合動詞では前部の要素となる動詞もあり、後部の要素なる動詞もある。また、前部と後部の要素になれる動詞もある。その一つは「取る」という動詞である。本研究では「取る」の動詞から形成された複合動詞の意味を持つについて分析する。本研究は「取る」の動詞から複合された動詞の意味や形成や用法などを知るためである。研究の方法は定性的記述方法を使用する。データは村上春樹の「IQ84」第二巻という小説から取る。分析では新見和明と沖井林の理論を使い、動詞の意味を前後要素の2つの要素に分ける。前部の要素と後部の要素にある動詞であり、それを複合動詞の意味を分析する。研究の結果は19文の「取る」という動詞が入っている複合動詞が発見された。それは、1文の意味、外方向への動作を表す。また、8文の意味は動作をやり方を表す。1文の意味、上方向へ動作を表し、1文の意味は動作の開始面を表す。それに、1文の意味は言葉の意味を強くするを表す。さいごに、7文の意味は動作の結果を表す。

キーワード：複合動詞，意味，取る.